

【現状】

- 令和5年度の志願者数は、昨年度に比べ360名減少となった。電子申請となった昨年度は、一昨年度に比べ36名増加したが、ここ数年、志願者数は減少傾向にある。大学新卒志願者数についても、令和5年度は50名減少した。

	志願者数	前年度比	大学新卒志願者数	前年度比
2024年度採用選考試験	6,048名	▲360名	2,577名	▲50名
2023年度採用選考試験	6,408名	36名	2,627名	180名
2022年度採用選考試験	6,372名	▲149名	2,447名	142名
2021年度採用選考試験	6,521名	▲235名	2,305名	▲15名
2020年度採用選考試験	6,756名	▲716名	2,320名	▲307名

- 教育実習生受入数は、2年続けて増加していたが、令和5年度は127名減少した。

	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
小中学校	2,115	2,113	2,054	2,048	2,128	2,158	2,046
県立学校	829	818	707	708	707	700	685
合計	2,944	2,931	2,761	2,756	2,835	2,858	2,731
前年度比	▲130	▲13	▲170	▲5	79	23	▲127

1 教員採用者数の確保

令和5年度末は、定年延長により退職者が出ない年であるが、採用予定数を大幅に減らすことはしなかった。

- 令和5年度採用1,710人、令和6年度採用1,610人で100人の減少

2 採用試験負担軽減

採用試験の実施に当たって令和4年度採用（令和3年度実施）教員採用選考試験から筆記試験を一次試験に集約し、受験者の負担軽減を図った。

令和6年度採用（令和5年度実施）教員採用選考試験では、「元教諭・講師経験者特別選考」において、従来の出願資格に加えて、市町村教育長の推薦がある場合、又は県教育委員会の選考により相当と認められた場合、第1次試験を免除することとした。

また、特別支援学校教諭の区分において、特別支援学校教諭等免許状を所有又は取得見込みでない場合は、当該免許状取得に必要な所定の単位を、採用後3年を目途に取得し、速やかに免許状取得の申請に努めることとした。

3 働き方改革の推進

外部人材の更なる活用や休日の部活動の見直しなどを始めとした働き方改革を進め、働き甲斐のある魅力的な教育環境づくりを積極的に進めていることを発信することで、教職の魅力を高め、教員志望者の増加につなげる。

- 令和5年度は県内計20校（小中高特）を対象に、外部委託業者による業務改善取組実践研修会を実施

4 人材確保

常勤講師の不足については、愛知県教育・スポーツ振興財団が運営する教員人材銀行や教育事務所への講師登録を様々な場面で働きかけている。また、臨時教員免許状授与のための要件を緩和し、欠員の解消に向けても努力している。

5 ペーパーティーチャー相談会（令和5年度より）

教員免許保有者で教員として働いた経験がない方や、過去、学校に教員として勤務した経験を持ち、再び学校で働きたいという希望を持つ方を主な対象に、三河会場（6月）、尾張会場（7月）で各1回ずつ相談会を実施した。

- ①6月30日（金） ※三河会場：岡崎市、約30名参加
- ②7月6日（木） ※尾張会場：名古屋市、約60名参加
 - ・教師の魅力を伝える動画視聴とパワーポイントを使用した説明（約20分）
 - ・説明後、「小中」「高校・特支」「免許」に分けて、相談受付

6 パンフレット・PR動画の作成

あいちの先生教員採用ガイドブック「やっぱり先生になりたい」を作成し、中学3年生、県立学校等へ配布した。また、現役教員が、教員のやりがいや魅力について語る動画を作成し、愛知県教育委員会のHPからアクセスして視聴できるようにした。